



リサイクルマスコット「クルリ」

■発行/ごみ減量対策課 〒192-8501 元本郷町三丁目24番1号 ☎620・7256(直通) FAX626・4506
■ホームページアドレス<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/gomi/index.html>

ごみゼロ通信

10.1
2013
(平成25年)



▲クルリもマイバッグでお買い物!

市では、ごみの減量、CO₂を削減するため、手軽にできるエコの推進の一つとして市民や事業者と協力し、マイバッグで買い物をする呼びかけを行っています。市で行ったアンケートでは、全体の25パーセント以上の方が「家に30枚以上のレジ袋がある」と答えています。一人ひとりのわずかなエコでも、多くの方が取り組んでいただけたら大きなエコにつながります。買い物をする時、2回に1回、「レジ袋は要りません」と言ってみませんか? 手軽なエコにご協力を!

10月はマイバッグ利用促進月間です
手軽なエコに協力をお願いします!

商店会や事業者にもご協力いただいています!

市では、スーパーマーケットを中心とした下記の事業者と協力しながらマイバッグの利用を呼びかけるさまざまな活動を展開しています。

イトーヨーカ堂、いなげや、エコス、オザム、グルメシティ関東、京王ストア、
コープとうきょう、さえき、サカガミ、三徳、三和、成城石井、食品のおおた、
スーパーアルプス、ダイエー、ニュー・クイック、ベルク、丸正飯塚、
クリエイトエス・ディー、コーナン商事、
八王子市商店会連合会
～レジ袋削減推進協議会参加事業者(平成25年9月現在)～





マイバッグ利用促進月間の取組



八王子市では、10月を「マイバッグ利用促進月間」、10月5日を「マイバッグの日」として、マイバッグの利用を呼びかけています。

今年は、直近の日曜日の10月6日を中心に市民・事業者の皆さんと一緒に啓発活動を行います。ここでは、皆さんにマイバッグを利用していただくために、協力店舗が独自に行う取組を紹介します。

スーパーアルプス 市内全店

10月6日はレジ袋を辞退されたお客様にエコポイントを通常の2倍(4ポイント)さしあげます。

エコポイント **2倍**

三徳 南大沢店

10月5日はレジ袋を辞退されたお客様にエコポイントを通常の2倍(4ポイント)さしあげます。

エコポイント **2倍**

三和 市内全店

10月3日・4日はレジ袋を辞退されたお客様にエコポイントを通常の3倍(3ポイント)さしあげます。

エコポイント **3倍**

ゆいまーる生活館(南新町)

10月はレジ袋を辞退されたお客様にスタンプ1個をプレゼントします。

スタンプ **1個**

木のっぴ(元本郷町三丁目)

10月1日～10日はレジ袋を辞退されたお客様に手作りのメモ帳、またはローリエをさしあげます。



ベーカリーパン(上野町)

通常はサービス券15枚のところ、10月に限り10枚にて写真のオリジナルエコバッグと交換いたします。



クリエイトS・D 市内全店

10月5日はレジ袋を辞退されたお客様全員に写真の「クリエイトエス・ディー オリジナルグッズ」(ヒッポちゃんのクリアファイル)をさしあげます。



イゲタヤ(八日町)

10月5日はレジ袋を辞退されたお客様に粗品をプレゼントいたします(数量限定)。さらに10月5日～21日はポイントを通常の2倍さしあげます。

エコポイント **2倍**

きものの西室(横山町)

10月1日～10日はレジ袋を辞退されたお客様にオリジナルグッズのにおい袋(防湿・防虫剤になっています)をプレゼントいたします。



網代園(横山町)

10月1日から、ご来店の上、量り売りのお茶をお買い上げのお客様(先着20名様)に、小物の収納に便利な「みえ〜る缶」をプレゼントいたします。



タカラメガネ(八幡町)

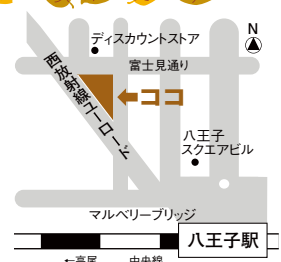
10月はお渡し袋を辞退されたお客様に、ガスパール・カサドのメガネクロスをプレゼントいたします。



三崎町公園でマイバッグ作り

10月6日(日)午前11時から午後4時まで、三崎町公園において、西放射線通り商店街振興組合・八王子駅北口商店会と合同で、マイバッグの利用を呼びかけるイベントを開催します。(小雨決行)

当日は、出た目の数で景品がもらえるサイコロゲームや、布製のバッグに専用の絵の具で絵や文字を描き、オリジナルマイバッグを作るコーナーがあります。作ったマイバッグは持ち帰ってぜひ使ってください!(先着200名様。無料です。)



生ごみ資源化モデル事業実施中

市では、可燃ごみの約半分を占める生ごみの減量に向け、平成25年度はダンボールコンポストを使った生ごみ資源化モデル事業を実施しています。

地域で取り組む ダンボールコンポスト

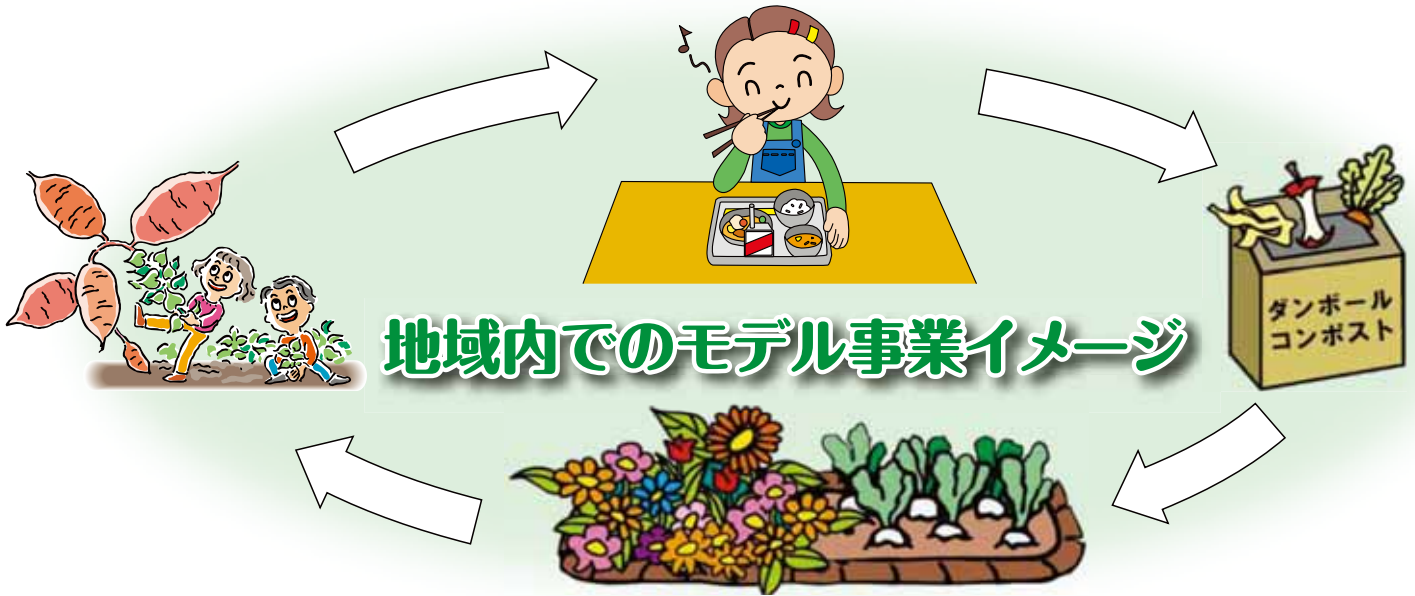
市では、家庭で手軽にたい肥が作れるダンボールコンポストを使って生ごみを減らし、地域内で循環させる「生ごみ資源化モデル事業」を行います。

ダンボールコンポストは、ベランダや軒下など、雨がつかからない場所にダンボールを設置し、基材(発酵促進剤)を入れ、そこへ毎日生ごみを入れるもので、手軽にたい肥を作ることができます。

この事業について、昨年度のモデル事業参加団体を中心に9月より順次事業説明会を開き、約3か月間各家庭でダンボールコンポストに取り組んでいただいています。皆さんが作ったたい肥は各家庭で使っていたとき、一部は市が管理している公園などで使用する予定です。将来的には自分たちで作ったたい肥をその地域で活用していただき、地域の活性化につなげていきたいと考えています。



▲事業説明会の様子



小学生がダンボール コンポストでたい肥作り

市内の小学校では、4年生の社会や総合の授業でごみの勉強をしています。そこで市では市立式分方小学校をモデル校とし、4年生を対象として5月にダンボールコンポストの講習会を開き、たい肥作りに取り組んでもらいました。

1学期は児童が順番で家から生ごみを持ち参し、毎朝コンポストの温度と生ごみの重さを量ってから投入しました。投入した生ごみは合計で172kgになります。

夏休みの間はたい肥の熟成期間として、週に1回児童が登校し、コンポストへの水やりとかき混ぜを行い、たい肥を完成させました。

こうしてできたたい肥を9月13日に4年生全員で学校の畑にまき、その後、大根の種をまきました。2か月後の収穫を楽しみにしています。



▲畑へのたい肥まき



▲毎朝生ごみを投入

スプレー缶などは「不燃ごみ」から「有害ごみ」に変更

スプレー缶カセットボンベ・ライターは、中身(ガス)が残っているものがあり、それが原因で収集車両や処理施設の火災事故が多発しています。

これらの火災をなくすため、平成25年10月1日からスプレー缶などの出し方を「不燃ごみ」から「有害ごみ」に変更しました。

これらのものは中身を必ず使い切つて、透明・半透明の袋に入れて出してください。中身が使い切れないでお困りの方は、ごみ総合相談センターまたは担当清掃事業所へご相談ください。

問い合わせ ごみ総合相談センター
 (☎6966・5353、FAX6992・0900)、戸吹(☎691・2891)、館(☎665・2531)、南大沢(☎674・0551) 清掃事業所へ

ごみ・資源物は朝8時30分までにお出してください

10月1日から、不燃ごみ・資源物の一部の収集ルートが変更になります。これに伴い収集時間が変わる場合がありますが、これまでどおり朝8時30分(早朝収集地域は7時30分)までにお出してください。

問い合わせは、ごみ総合相談センター
 (☎6966・5353、FAX6992・0900)へ。

不燃ごみの持ち込み先を変更

戸吹不燃物処理センターの設備更新工事に伴い、不燃ごみの持ち込みの受け付けを、10月から平成27年3月まで可燃ごみと同じ戸吹清掃工場で行います。ごみの持ち込みの際は、可燃ごみと不燃ごみの分別をお願いします。

受付時間は、月曜日から金曜日(祝日を含む)までの午前8時30分から午後4時までです。ただし、第4日曜日・年末年始は、これまでどおり戸吹不燃物処理センターで受け付けます。

問い合わせは戸吹不燃物処理センター
 (☎6922・3221、FAX6991・7171)、または戸吹清掃工場(☎6922・5389、FAX6991・8678)へ。

たまかんフェスタ開催

清掃工場の特別見学会・環境についての展示のほか、ステージやゲーム大会を行います。また、エア遊具やさまざまな体験コーナー、食べ物のお店などもたくさんあります。お誘い合わせのうえぜひお越しください。

日時 10月20日(日)午前10時～午後3時
 会場 多摩清掃工場
 問い合わせ 多摩ニュータウン環境組合
 (☎042・3374・6331、FAX042・3337・5061)へ。

ごみの分別・減量啓発活動を実施 〜リサイクル推進員の協力〜

市では、各町会・自治会の廃棄物減量・再利用推進員(リサイクル推進員)に協力をいただき、市内の各地でごみの分別・減量啓発活動を実施しています。

ごみの分別をクイズにして、市民の方にその場で答えてもらったリ、ご家庭で取り組んでいただくようにプリントしたクイズを配布しました。



資源物の持ち去り対策「GPS追跡調査」を導入

市の指定回収業者以外の者が、行政回収のために出された古紙などの資源物を無断で持ち去る行為が多発しています。

市では、巡回パトロールや張り込みを行い、資源物を持ち去る行為の防止に努めていますが、後を絶たない状態にあります。

そこで市は、全地球測位システム(GPS)の端末を資源物に仕掛け追跡調査を実施します。持ち去り行為の「抑止効果」を狙うとともに、不正な資源物を買入れる問屋に対し、注意・指導を行い、資源物の持ち去り者の締め出しを図ります。

資源物は市の貴重な収入源であり、平成24年度実績で約1億7,355万円の売却益があります。

資源物の持ち去り行為を発見した場合は、日時、場所、資源物の種類、車両や持ち去り者の特徴などをごみ減量対策課までご連絡ください。

(☎620・7256、FAX626・4506、Eメールb480100@city.hachioji.tokyo.jp)



▲GPS装着の様子

あなたもクイズにチャレンジ!

使い捨てカイロは、何ごみでしょう?

答え:「せご燃回」

